

<凸版印刷の先端表現技術について>

凸版印刷は、長年培った印刷テクノロジーを発展させ、生活者に向けた新たな価値を創造する先端的表現技術を開発しています。

一般に「人が得る情報の八割から九割は視覚に由来する」と言われていますが、凸版印刷は独自のバーチャルリアリティー技術と表現・演出技術により、起こりうる未来をあらかじめ事前に視覚によって確認・体感出来るプラットフォームを開発し、展開しています。

今後さらにこの取り組みを、5Gによる通信環境の技術革新と連動させ、物体や空間の高精度三次元計測技術、リアルタイム・超臨場感・低遅延の遠隔操作感などを取り込み、さらなる進化を予定しています。

XR(VRやARなどの総称)技術による史跡探訪プラットフォーム「ストリートミュージアム®」を活用した遠隔歴史教育や、自然災害の猛威の可視化による「VR避難訓練システム」の研究・開発などを加速させ、社会課題解決とSociety5.0への貢献を目指していきます。

※2 ストリートミュージアムについて

凸版印刷が開発・提供する、過去だけではなく未来都市などを自由にタイムトリップできる、VR技術を活用した新しい観光体験サービスです。<http://www.toppan.co.jp/solution/service/streetmuseum.html>

<お問い合わせ先>

京都大学大学院総合生存学館・教授 土佐尚子

TEL 075-762-2108

e-mail:tosa.naoko.5c@kyouto-u.ac.jp

凸版印刷株式会社: 広報本部 担当 大森

TEL 03-3835-5636 FAX 03-3837-7675

e-mail:kouhou@toppan.co.jp